



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<http://www5.synapse.ne.jp/Kanoya24/>
ROTARY 第2102回



スローガン：「笑顔でひろげようロータリーの魔法を！」

2024年7月29日

◆会務報告

- 国際ロータリー第 2730 地区 2024-2025 年度
会員増強セミナー開催のお知らせ
日時：2024年9月14日(土)13:30～15:30
場所：メインホテル 5F
- 訃報のお知らせ (かのや東 RC)
- 地区関係資金納入 (送金) 報告に関するお詫び
- 交流会 (KIEA SUMMER PARTY) のご案内
日時：令和6年8月24日(土)19:00～
場所：料亭義経
- かのや夏祭り総踊り駐車許可証送付について
- RI 日本事務局財団室 NEWS 2024年8月号
- 会員増強・新クラブ結成推進月間 リースのご案内
- 青少年交換留学生募集チラシ送付
- 国際ロータリー第 2730 地区 2027-28 年度ガ
バナナー候補者推進のお願い
- 串良平和記念献茶式のご案内
- 週報 …… 鹿屋 RC・串良 RC・きもつき RC
南九州大崎 RC・志布志 RC
- 8月例会変更のお知らせ
〔鹿屋 RC〕14日(水)お盆の為休会
28日(水)クラブ協議会(公式訪問前)18:30～
〔南九州大崎 RC〕8日(木)⇒10日(土)へ変更
ドッジボール観戦の為 (時間未定)
15日(木)お盆休みの為休会
〔志布志 RC〕6日(火)⇒4日(日)大丸グランド
ソフトボール大会 7:00 集合・準備・例会
13日(火)第2週目につき例会無し
20日(火)⇒11日(日)うるがのフットパ
ークメダカの学校(野外活動)例会 12:30～

〔志布志みなと RC〕

- 7日(水)⇒11日(日)うるがのフットパ
ーク 第30回めだかの学校 例会 12:30～
14日(水)休会 (お盆休みにつき)
28日(水)時間変更 19:30～大黒本店

会長の時間

会長 鶴丸秀治さん
きょうは、ちょっと真面目な
話をしたいと思います。先日あ
る会合で精神科医の名越康文
さんという方の公演を聴く機
会があったので、そのことにつ
いてお話をさせていただきたい
と思います。



私はこの方のことを全く知らなかったのですが、大
阪精神医療センターにて精神科救急病棟の設立時
の責任者をされ、養老孟司さんとの共著も複数あり
仏教の空海の研究者でもあるとのこと。

まず、話の内容ですが、ワクワクして仕事をしな
いと脳が活性化しない、活性化しないと脳が喜ばな
い、脳が喜ばないと物事が進まない続かない。
毎日コツコツ「興味を持って」継続してやれば大概
のことは一流になれる。

自分が「面白い」と思わないことは成長しない。
部下への指導やコーチングの時、部下を褒めること
が大切だが、重要なことはどうやって「その気」に
させるか?だといいます。

上からの命令だけでやっている、要求以上のこと
はできない。


東大 NO.1 の教授をハーバード大学の研究員候
補として連れてきたが、3ヶ月経っても「自分のテ

次回プログラム		
8月19日(月)		
卓話者：内田秀行さん		
担当委員会：会員増強		
3分間スピーチ：滝本まゆみさん		
出席報告	会員数	(38)44名
	出席数	32名
	出席率	84.21%

メイクアップ情報			
鹿屋	08月07日	(水)	ホテルこばやし
かのや東	08月08日	(木)	かのやグランドホテル
串良	08月05日	(月)	セントロ大隅 第1週:理事会(例会無 ⇒4日(日)大丸グランド ソフトボール大会7:00集合
志布志	08月06日	(火)	同上
きもつき	08月08日	(木)	高山温泉ドーム クラブ協議会18:30～ ⇒10日(土)時間未定 ドッジボール観戦の為
南九州大崎	08月08日	(木)	同上
志布志みなと	08月07日	(水)	うるがのフットパ ーク:第30回めだかの学校

鹿屋西ロータリークラブ

会長：鶴丸秀治
副会長：王谷英仁
幹事：假屋博行



例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp

ーマ」が見つけれられず断念して帰国したというエピソードが現実にあります。

大谷選手が通訳の水原一平から詐欺にあいました。これが普通の人なら、裏切られたことで→憎み、そして気持ちが落ちてしまい、仕事にも私生活にも影響が出てしまうものですが、好きな野球に携わることができて気持ちがいいというふうに切り替えられて→成績が上がる→チーム全体に影響を与えている。

これは、心理学用語で「フロー」の状態、つまり心が軽やかで明るいという事です。「フロー」とは、明確な目標があって、特定の活動に完全に没頭し、集中している状態を指します。この状態は、時間の感覚が消え、自己意識が薄れ、活動そのものが非常に満足感をもたらすとされます。

従業員を観察する時、いつも「愚痴」を言う人と自然に前向きになっている人の意識レベルの違いを見ると、店長によって空気が変わるの「フロー」の違いであるとのことです。

あと余談ですが、会社の歴史を知ると従業員もパワーが出るとのことです。

ぜひ会社の歴史を従業員にも伝えてみてください。話を元に戻すと、「フロー」の人は脳が活性化しているから機嫌がいい、機嫌がいいから意識が高い、意識が高いから体調がいいということになります。

それでは、どうすればこうなれるか？

まずは睡眠を8時間以上とる。(日本人平均7時間、アメリカ人8時間以上)

研究によると睡眠不足はIQが10以上下がるのだそうです。

大谷選手の睡眠時間は9時間と言われます。

5~6時間しか寝ない人は認知症・成人病のリスクが4倍になるという研究もあるそうです。

解決策は、

朝起きたら自然光を浴びる▶楽しみながら散歩する

▶みそ汁(発酵食品。腸は第2の脳といわれます。)
(豆腐、魚、豚、鶏などに含まれる必須アミノ酸であるトリプトファン

▶セレトニン(脳内ホルモン、やる気スイッチ、幸せホルモン)

▶夜メラトニン「睡眠ホルモン」に変化

鬱の人はメラトニンが出にくいらしいので、

朝起きたら自然光を浴びる▶楽しみながら散歩する▶みそ汁を飲む

トリプトファンを含む食べ物を摂ることを忘れずに毎日をお過ごしください。

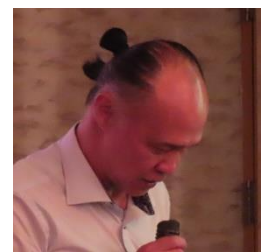


3分間スピーチ



野添さん

会員卓話



王谷さん

3分間スピーチ

野添幸祐さん

お疲れさまです。鹿児島銀行西原支店の野添です。本日はよろしくお願いたします。さっそくですが、3分間スピーチということで「ロータリーに入会して感じたこと」について話しをさせていただきます。

現在、私はロータリー活動に参加させていただいて、4ヶ月目となります。忘れもしない3月18日銀行の支店長引継ぎで前任の支店長に連れてこられて、よく分からないままに、昨年度の前田会長はじめ、役員の方々に新入会員オリエンテーションをしていただいたのを覚えています。

オリエンテーションでは、ロータリーとは、に始まり、ロータリーの目的、基本理念、各種活動内容などをご説明いただきました。ロータリーが初めての経験でしたので、はっきり申し上げてよく分からないことばかりでした。心は動揺しながらも平静を装い、説明に対してとりあえずうなずいていたような気がします。

ただし、その際、クラブ研修委員会の委員長でいらっしゃる北山さんから、要は「自分磨きの場」なんだよ、とのお話をいただき、「ああ、そういうことか」と少しだけ理解したような気になりました。その節はありがとうございました。

そのような感じで、私のロータリー生活が始まったわけですが、まだまだ例会などの度に勉強不足を感じております。『四つのテスト』が歌だったときは、一人で動揺していました。その他にもロータリーに関する歌がありますが、いまだに正しい音程、正解が分からない状態でなんとなく口ずさんでおります。申し訳ございません。

その他にも、パストガバナー、ガバナーエレクトなど、ロータリー特有の言葉、地区研修、学習会、寄付などいまだに理解が薄いことが多々ありますので、今回、反省の意味もこめまして、「ロータリーの友7月号」を少しだけしっかり読んでみました。

表紙の次のページに、ステファニー・アーチッ

ク RI 会長が、なぜ今年度のテーマに「The Magic of Rotary (ロータリーのマジック)」を選んだのか、説明が記載されています。それによると、ドミニカ共和国で家庭に浄水器を設置した際、子どもに言われた「もう一度魔法を見せて」、この一言から生まれたテーマだそうです。だれかにとっては当たり前の出来事が、ある人には特別なこと、魔法のような、時として人生を変えるような出来事になるのだというふうに理解しております。3 ページ目以降は割愛いたしますが、しっかりと読みました。

最後になりますが、今後も「自分磨きの場」であり、また、「魔法の生れる場」であるロータリーのさまざまな活動に“笑顔で“参加していきたいと思います。そして、ロータリーの大きな目的である「奉仕の理念の実践」や「国際親善、国際平和」等の達成に微力ながら、つなげていければと思います。

以上でスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

会員卓話

王谷 英仁さん

本日は「母子の健康月間」について卓話をさせていただきます。母子の健康と言いましても結構守備範囲が広いようですが、ロータリーが取り組んでいることや、気に留めていることに絞ってみますと大きく二つのことが挙げられると思います。一つは出産に関わること、もう一つは小児や新生児の感染予防に関わる事になるかと思えます。今日はそのうちの出産に関わることについてお話ししたいと思います。

なぜ出産を国際的に考えなければならないのか、普通に妊娠してどんどん人口を増やせば何も問題ないのでは？とほとんどの人が考えると思います。実は出産はとてもしリスクの高いイベントであることを今日は認識していただきたいと思えます。妊産婦死亡率という尺度があります。これは 10 万人の出産に対する妊婦や産褥婦の死亡の割合で表されます。妊娠や分娩が原因で母親が死亡する割合つまり出産の安全の尺度ともいえるものです。

日本では 1899 年からのデータがあります。この統計によりますと 1899 年は 409 という数字が記載されています。10 万件の出産の中で 400 人程のお母さんが亡くなったということになります。

総死亡数は 6240 人です。ロータリーがアメリカで結成されたころの 1905 年には 387、日本でロータリーが結成された 1921 年頃は 337 とだんだん減っていきます。1970 年に入ると 50 を切ってきました。最新データでは 2021 年に 2.5 まで改善しています。

日本は国際的にも妊産婦死亡の少ない国となりました。日本より妊産婦死亡率の低い国はドイツ、オランダ、イタリア、オーストラリアなどです。因みに日本は周産期死亡率も世界でトップクラスの成績となりました。周産期死亡率とは 22 週以降の死産と生後 1 週間以内の新生児死亡数を総出生数+22 週以降の死産数で割り 1000 をかけたものです。つまり 1000 人の赤ちゃんが生まれたときにどれだけ死産となるかという指標です。当然低いほど安全な出産ができる環境であるということです。

一方、妊産婦死亡率の高い国ではどうでしょうか。死亡率が 1000 を超える国を筆頭に信じられないほどの妊産婦死亡があるようです。統計によりますと現在年間 30 万人の妊産婦死亡があるそうです。そしてその 95%は発展途上国で認められます。スライドに有りますようにほとんどがアフリカ大陸の国となっています。若く結婚して未成熟な体での妊娠、衛生教育の不徹底、医療環境の不足などが考えられます。ロシアーウクライナ戦争は既に 2 年が経過していますがその死者は両国合わせて 20 万人程とのことです。それを上回る数の妊産婦が一年で死亡しているのです。

妊産婦の大きな死因は 4 つほど挙げられます。まずは産後の出血です。分娩後の出血はその量が多いという事も問題ですが、出血のスピードが速いのが特徴です。迅速な治療が必要です。次に感染症です。妊娠中は体力も抵抗力も弱っているため感染しやすく、その後重症化する確率が高くなります。諸外国では我々になじみの薄いエイズやマラリアなども妊産婦死亡の原因となります。妊娠高血圧症は成績の良い日本でも大きな課題となっています。本人は妊娠のせいで体調が悪いと思込み、病院を受診しないまま徐々に悪化していきます。妊娠高血圧症はコントロールできないと母子ともに危険な状態になります。最後は安全でない中絶です。宗教的あるいは政治的に中絶を認めない社会では違法な医療に依らない中絶が横行します。これによって命を落とすことも有ります。

今のような支援がなされているか少し挙げてみます。産後出血については膣から子宮内に挿入するバルーンが著効することがあります。操作には熟練を要しますが、特殊な機械を必要とせず簡便に処置ができます。この器具の提供をすることによっていくらかの成果を上げているようです。感染症や高血圧につきましては日本で行われている「母子手帳」による妊娠の管理が優れています。そのため、いろいろな国にこの「母子手帳」のシステムを構築すべく対策が取られています。しかしながらこのシステムを円滑に運営していくにはその地域の教育レベルや貧困の度合いがカギとなるようです。良い事だと伝えても検診を受けに行く交通手段がなかったり、家事をする時間を割いて検診に時間を費やす事をとがめる家族がいたりとなかなか浸透しないようです。

まとめです。
世界中で妊娠や出産による母親の死亡数は年間30万人います。毎日830人、約2分に一人の妊産婦死亡があります。発展途上国においてはこの不幸を減らす方法がありそれは決して難しい事ではないのですが、手を差し伸べなければ自然と減ることはなくかえって増加すると思われまます。

「ロータリーの友」8月号の見どころ



- 特集 会員増強・新クラブ結成推進月間
「新しいクラブ 新しいスタイル」
- 特集 What's DEI?
「宮里唯子さんに聞くDEIの今」
- 特別寄稿「私の人生を変えた18歳の経験」
- 「SPEECH」
「デザインは、＼気遣い、です。」
グラフィックデザイナー 佐藤 卓氏の講演趣旨
- 「この人訪ねて」
歯科医 丹羽修二さん（斜里 RC）
などなど



▲ガバナー月信はこちらから

◆スマイル報告

〈1件〉

○王谷先生、先日は丁寧なご指導ありがとうございました。今日の夜、日本酒の会が大変楽しみです。…

○本日の米山 BOX スマイルは2,744円です。
累計(一般) 57,000円
(財団) 9,095円 (米山) 34,744円

***** ありがとうございました *****

あなたを日本と海外を繋ぐ
「小さな親善大使」に任命します！



私達は、海外へ留学する青少年達を
「小さな親善大使」と呼んでいます。
1年間の海外派遣を経験し、
ロータリーの家族になりませんか？
国際ロータリーの地区同士が
高校生を交換する
国際親善プログラムです。



2023-2024

国際ロータリー第2730地区(鹿児島・宮崎)地区青少年交換プログラム

交換留学生募集

派遣期間	2024年8月より約10ヶ月間
費用	出発地からの往復の運賃、渡航手続料、海外旅行傷害保険料、出発までの研修費等(派遣先での授業料、生活費は必要ありません。)
募集概要	裏面をご覧ください。
申込期限	2023年10月13日(金)必着
申込先	推薦ロータリークラブ宛
連絡先	国際ロータリー 第2730地区 地区事務所 〒885-0072 都城市上町8-9 メインホテル4階 2023-24年度 地区青少年交換委員長 榎木 敬浩 ☎(0986)36-5877 FAX (0986) 36-5878 E-mail: rid2730yec@gmail.com

詳しくは右記をご覧ください

<https://www.rotary.org/ja/our-programs/youth-exchanges>

Rotary 国際ロータリー第2730地区(鹿児島・宮崎)地区青少年交換プログラム 交換留学生募集要項

目的と募集概要	次世代を担う若者が海外での様々な体験を通して、自らの国際理解を深め、国際親善に寄与していくことを目的としています。																																																							
留学期間	留学期間は2024年8月から2025年6月までの期間約10ヶ月																																																							
申込締切	2023年10月13日必着 このご案内を受け取られたロータリークラブ (https://www.rid2730.org) を通してお申し込み下さい。																																																							
派遣予定先	フィンランド・カナダ・メキシコ・フランス・イタリア・アメリカ・イギリス・ポーランド・台湾 他																																																							
予定表	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>申込締切</td> <td>選考</td> <td>派遣先決定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>派遣予定期間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>帰国報告会</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	2023	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		申込締切	選考	派遣先決定												派遣予定期間																	帰国報告会											
2023	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7																																														
	申込締切	選考	派遣先決定																																																					
				派遣予定期間																																																				
										帰国報告会																																														
応募資格	<p>①地区内ロータリークラブの推薦するロータリアンの子弟、インターアクトクラブもしくは各ロータリークラブの公募による優秀な高校生。</p> <p>②出発時に中学3年生から高校1,2年生(15~17才)であること。2024年8月31日時点で18歳以下の人。</p> <p>③本人および家族が本プログラムの主旨を十分に理解し、訪問国ホストクラブ・カウンセラー・ホストファミリー・学校と協働でき、帰国後も受入ホスト家庭として、この事業の推進に協力頂けること。</p> <p>④約1年間の留学生活に耐え得る健康な精神と身体を持ち、学業成績が優秀で留学生としての品格と向上心を保つ学生。</p> <p>⑤保護者の承諾があり、学校長および地区内ロータリークラブの推薦を受けられること。</p> <p>⑥派遣までの期間に当委員会が行うオリエンテーションに参加できる人。</p> <p>⑦派遣国へ渡航可能な人。渡航先は法律、学校、受入ロータリー地区の規則を守れる人。</p> <p>⑧交換学生(インバウンド学生)のホストファミリーとなる方。支援金があります。</p>																																																							
定員	2~4名(予定)を募集(選考の結果、派遣を実施しないこともあります。)																																																							
説明会	9月24日(日) 国際ロータリー第2730地区 地区事務所(宮崎県都城市上町8-9メインホテル4F)にて 応募説明会を開催します。自由参加。																																																							
応募者の選考	10月22日(日) 国際ロータリー第2730地区 地区事務所(宮崎県都城市上町8-9メインホテル4F)にて 学カテストおよび保護者同伴の面接試験を実施します。																																																							
費用	相手国受入クラブが指定する都市までの往復航空運賃および海外旅行傷害保険(疾病含)代、旅券、査証手数料費用は本人負担(40~60万円)です。また、現地において研修旅行がある場合には原則本人負担となります。海外旅行傷害保険は受入れ先の指定する保険に加入して頂くことがあります。 ※派遣国においてはホスト家庭の一員として待遇されます(食費・宿泊費等の本人負担はありません)。学費や小遣い(月5,000円~月10,000円)が相手国ホストロータリークラブから支給されます。																																																							
派遣先の決定	派遣先の最終決定は第2730地区・地区青少年交換委員会が行います。																																																							

第2730地区青少年交換委員会 宛		応募用紙 2024-25 派遣学生		年	月	日
申込(推薦)クラブ	担当推薦クラブ	担当推薦者				
応募者氏名	学校名・学年					
応募者住所						
応募者TEL	生年月日	性別				
応募者E-mail						

週報担当：西ノ原